

## 2017年度 日本文化人類学会

### 総会 議事録 (案)

日時：2017年5月28日（日）12:30～14:30

会場：神戸大学 鶴甲第一キャンパス B棟 110 教室

議長：岸上伸啓 議事録確認者：井上敏昭、西村一之

#### 〔議題〕

1. 2016 年度事業報告
  - ・川田牧人庶務担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
2. 2016 年度決算
  - ・綾部真雄会計担当理事より別紙の通り報告があり、承認された。
3. 27 期各種各委員会の 2017 年度の構成について
  - ・川田牧人庶務担当理事より報告があり、審議の結果、「研究大会実施委員会」と「医療者向け人類学教育連携委員会」の新設置を含め、2017 年度の第 27 期各種委員会の構成が承認された。
4. 2017 年度事業計画 (案)
  - ・川田牧人庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
5. 2017 年度予算 (案)
  - ・綾部真雄会計担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
6. 名誉会員候補者の推薦について
  - ・評議員会の提案を受け、名誉会員内規第二章第二条に基づき加藤泰建会員と渡邊欣雄会員を名誉会員として推戴することが承認された。
  - ・名誉会員内規第二章第二条第二項による名誉会員候補者として評議員会の提案を受け、審議の結果、スチュアート ヘンリ (本多俊和) 会員を名誉会員として推戴することが承認された。
7. 『文化人類学』誌の新査読規程について
  - ・『文化人類学』編集主任の真島一郎理事より、理事会で承認された学会誌『文化人類学』の新査読規程について、現行の査読規程から新査読規程へ変更することの意味や検討過程を含め、内容について説明及び報告がなされた。
8. 法人化および定款案について
  - ・法人化検討委員会委員長の三尾裕子理事より、昨年度総会以降、募ったパブリック・コメントの報告がなされ、議案書に基づき、概要、費用等について説明がなされた。また、定款案に基づき、会長の選出方法や評議員数等、一般社団法人化に伴い大きく変更になる部分を中心に内容について説明がなされた。
  - ・(1) 法人への移行の賛否、(2) 定款案の賛否について、無記名投票によりそれぞれ採決を行った結果、(1)、(2) とも可決、承認された。投票結果は下記の通り。
    - <投票結果>
    - 有効票数：156 票
    - (1) 法人への移行 賛成：149 票 反対：4 票 白票：3 票
    - (2) 定款案 賛成：147 票 反対：5 票 白票：4 票
  - ・法人への移行、定款案の承認を受け、法人化へ向けた今後のスケジュールについて説明がなされた。

- ・2018年以降の分の前納会費は法人化以降の会費とみなすことが確認された。
8. その他
- ・窪田幸子会員（神戸大）より、日本学術会議会員及び WCAA Delegate の立場から、日本学術会議と WCAA の活動が報告された。主な内容は下記の通り。
    - ①日本学術会議の人類学分科会では、高校に新しく設置される科目「公共」「総合地理」において、何らかの人類学的知見を入れるよう提言をまとめるべく活動中であること。
    - ②日本学術会議の多文化共生分科会では、義務教育終了以降の外国籍学生の教育の問題についてシンポジウムの開催や検討を行っていること。
    - ③一昨年6月の文部科学省の人文科学系不要論と受け取れる通達(6.8通知)に対し、日本学術会議はこれまでに2度の声明を出してきたが、新たに人文・社会科学からの提言を発表したこと。
    - ④日本学術会議の総合ジェンダー分科会において、人文社会科学系学協会の間で、男女共同参画推進連絡会を発足させたこと、本学会としても参加していくこと。
    - ⑤今年5月にオタワで開催された WCAA(国際人類学連合)の執行部会へ Delegate として出席したこと、WCAA が運営する多言語ブログで6月から浜田明範会員(関西大)を中心とする若手会員が担当し日本の人類学を紹介していくことが決定したこと。
  - ・名和克郎広報担当理事より、現在、CiNii から J-STAGE へ学会誌掲載論文データの移行中で、作業が少々遅れていることが報告された。
  - ・岸上伸啓会員（国立民族学博物館）より、国立民族学博物館において、毎年若手研究者奨励セミナーを実施しており、今年は12月7日、8日に開催予定であること、7月～9月頃に公募を行うことが報告された。
  - ・山本真鳥会員(法政大)より、2018年に九州大学主催で第4回世界社会科学フォーラム(WSSF2018)が開催されることが報告され、セッション等に学会員も積極的に応募してほしいとの呼びかけがなされた。

以上